

ソノ ヨノ リヒ

自らを由とする
ひとたちへ贈る
極私的な旅の記

目次

ソノひびヨリ 2025年 第十八号 <夏>

発行元
たびたびまたたびプロジェクト
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目18-27
Tel.06-6351-3474 Fax 06-6351-9364
発行日 2021年1月5日（季刊）

企画 たびたびまたたびプロジェクト編集委員会
制作 株式会社アートグローブバルファン

WEB <https://sonohibiyori.net/>
<https://www.instagram.com/sonohibiyori>
<https://twitter.com/sonohibiyori>



ソノひびヨリ 新潟県佐渡島『父子の思い届かず、討幕に敗れ佐渡の地へ』
「写して展・寄つて展」天皇御陵巡視の跡 天皇陵・外伝編
昭和ガラクタノスタルジー「家のじやまりモノ」
プチモフ動物園訪問記「みたにのの」ノアドルフィンドーム「世界遺産の街・堺市でイルカと触れ合う」
ソノひびヨリ 大坂府千早赤阪村『大阪府唯一無二の村「千早赤阪村」へ』
「合」舞・いちごうひとな 一三四献目から一三九献目まで
本の方角 「ハッピードリンクショップ Happy Drink Shop」吉村和敏

「真野宮」の「行在所跡」、どう見ても陵墓に見えてしまう……。

興味がないので先に進む。

自然遊歩道の表示板の近くに、玉垣で囲まれた森がある。聖域のようだ、玉垣沿いの参道は、玉砂利と変わり森の中へと続いている。

ここ「順徳天皇御火葬塚」のことを少し話しておこう。「順徳天皇御火葬塚」のことを地元では通称「真野御陵」とも言われていて、誘導表示にも両名称が混在しているから惑わされないように注意されたい(笑)。そして、この火葬塚には御遺骨は無い！ 一二四二年、在島二二年の末に四六歳で崩御、翌日火葬された御遺骨は、翌年に京都の父・後鳥羽上皇墓所のそばに安置されている。

そして火葬跡に松と桜を植え目印としたのが、この「順徳天皇御火葬塚（真野御陵）」。

まあ言えば、記念樹を植樹した場所なのだ、おっと不敬なことを言ってしまった(苦笑)。宮内庁が「火葬塚は御陵と同格扱い」とお迷いがある、ならば拝所にて深く頭を垂れる事にした。

用の田水路に小さな小さな石橋が架かっている。これらが参道のようだ、夏草をかき分け入っていけば「千歳宮」があった。皇子こと「千歳宮」の記録は、残念なことには残っていないらしい。二二七年（嘉禄三年）佐渡島にて誕生、二二五年（建長六年）一七歳で若くお亡くなりになられている。聖母さえも定かでない。配流の際に京よりこられた方か？ 現地の女人なのか？ 諸説あるが、現にも謎のままだそうだ。



佐渡の田舎風景はいい画になる、奥の林に「順徳天皇皇子・千代宮皇」がある。

「順徳天皇」が流されてきた真野灣の蒼き海を眺め想いにくけた後、車で三分ほどの行在所（仮の御殿）であった、「順徳上皇」をお祀りする「真野宮」へ向かう。県道三〇四号真野新町線沿いに走れば、すぐ鳥居が目に入るので迷わずすむ。鳥居の横には駐車場があり、小川のような真野川を渡れば「真野宮」の神域に入る。

参道を進めばすぐ右手には「佐渡歴史伝説館」があり、人形が狂言回しとなり佐渡の歴史を語ってくれる施設らしい。入館料が大人・九〇〇円、小学生以下にスルする事にした、九〇〇円は少し微妙な値段帯に思え・・・（言っておきますが吾輩は決してシブチンではございません）。

「順徳天皇御火葬塚？、真野御陵？」とどっちなんだ。
目的の地を「順徳天皇御火葬塚」とナビに入力、すると、出てきたルートがえらく迂回……。最短距離を見ると、一、五キロ程なのに、ナビでは二、三キロ約六分の表示になっている。旅先ではよくある「レンタナビあるある」だ、こんな時はナビの音声をオフにして無視に限る（諸兄もこんな経験があるはずだ）。ナビを無視して時短・最短で「順徳天皇御火葬塚」近くの「真野観光センター」駐車場に到着。「赤玉石」と何やら怪しい櫓が立つ「土産物屋」をよぎり「順徳天皇御火葬塚」への参拝道を進むと、突然現れたのが「大きな赤い石」！ その鮮やか

「第一皇女？ 第四皇女？」またまた、ややこしい最大の目的地「順徳天皇御火葬塚（真野御陵）」の参拝を終え、この旅の終了かと思いきや（笑）、はるばる京都からの来局、もう少し「順徳天皇（上皇）」の足跡をめぐる旅を続ける。さて、どこを指すか考えた末に「順徳天皇（上皇）」のご家族に視点を当て巡ることにした。

最初、この島で生まれ京都を知らず亡くなった皇子の墓に向かう。火葬塚から美しい田園を走る約一〇分「順徳天皇皇子・千歳宮墓」に到着。美しい田園を車窓から見てのとめずしく少し歩いてみたくなつた。駐車場がないので「千歳宮墓」より少し離れ、邪魔にならない場所に止め歩いて墓を指した。

泉道沿いを歩いていると「順徳上皇第三皇子の墓」の案内表示を見つ、



人も居ないところでドロー撮影。奥のこんもりした木立の中が「隠徳天皇御火葬場」。

び　ソ
ヨ　ノ
リ　ひ

第三八話 新潟県佐渡島
『父子の思い届かず、討幕に敗れ佐渡の地へ』

またまた、流し流され、流れ着いた、佐渡島。

「承久の乱」で鎌倉幕府頼朝「北条義時」に敗北した「八代・後鳥羽天皇」八四代・順德天皇、父・後鳥羽天皇は隱岐島へ、その子である順德天皇は佐渡島に配流され三二年後崩御された。二〇一九年初夏（少し古い話だが）、笑、吾輩は天皇陵踏破を目的に順德天皇の足跡を訪ねるため、新潟本より佐渡島に渡ることにした。

北陸の仕事を終え佐渡汽船ターミナル「新潟港」から高速船「ジェットfoil」乗船したのが一五時前、本士より約一時間強の船旅を終え両津港・佐渡汽船ターミナルに到着した。（今回は前回のようなヘマはしなかった、気になる御人は三八話霞崎の旅を読んでいたきたい）。上陸に伴い予約していた、レンタカーをピックアップしこの日の行程は終了した。翌朝、「順徳天皇」が上陸されたと伝わる港に向かった。宿泊した両津港から南西に約二〇キロ（佐渡島の真ん中の細くなっている部分の北東に阿津港、南西に恋ヶ浦がある）、時間にして三〇分ほどのドライブで「恋ヶ浦」にほどなく着いた。車を真野漁港多目的広場駐車場に止め、入口付近にあった「順徳上皇石碑群」に向かう。

ここには四つの碑が建っていて、そのひとつは父の「後鳥羽上皇」を思

う和歌で、もうひとつが地元の人々との交流を伝える「順徳上皇の稗粥物語碑」だ。そこには『これほどに身の温まる草の実を ひえの粥とは誰か云ふらむ』と書かれている。「窓ヶ浦」に一二二年四月（承久四年二月）到着した「順徳上皇」を、あたたかく迎える島民たちの情景が目につかぶ和歌だ。吾輩にもこの先、誰かにあたたかく迎え入れて欲しいものだ。そんな期待を胸に、この旅をスタートさせた。



玉垣沿いに導かれると、いつもの宮内庁の表示板が見えた。



櫓の向こうに白く引き詰められた三妙利。その奥に真新しい鳥居と門扉がある「隠退天皇御火葬塚」

ツノひこ

「謎は謎のままでもいい」歴史ロマンを感じつつ、次の「順徳上皇第一皇女・慶子女王」ゆかりの寺「慶宮寺」へ向かう。ここで補足説明を、この「第一皇女」というのは、少し語弊があることを。京にいた頃は帝として君臨していた「順徳上皇（天皇）」、当然、皇子女は大勢いらっしやる、もちろん女房殿もだ（笑）。この「慶子女王」は京時代から数えれば、第四皇女にあたり「順徳天皇」が佐渡で儲けた最初の子であつたので「第一皇女」されているようだ。（ややこし）その「慶子女王」の在所としていたのが「慶宮寺」、ここで六二歳の享年までお暮らしになったと伝えられている。佐渡で誕生なされた皇子女では、一番長生きをされた方です。そのため地元では、皇女にまつわる口伝のいくつかが残っているらしい。その口伝とやらを誰かに聞かせてもらいたいと、地元の方を探してみるも誰もいない・・・少し休憩がてらに待ってみるも、誰も現れはしなかった。やはり、あたたかくは迎えていただけそうもない（日頃の行か）。



これが有形文化財「慶宮寺・八祖堂（祖師堂）」

在島二年住まれた「黒木御所跡」へ。次はご家族の足跡から再度「順徳上皇（天皇）」関係の場所へ向かう、別に意味はなく道の距離が近いからだ（笑）。「順徳上皇（天皇）」が、在島二三年間お住まいになられていた「黒木御所跡」へ。車で約二五分、「黒木御所跡」の入口前の「泉公民館」に到着。ここに駐車場とトイレがある、島は車がなければ不便なので駐車場がちゃんと完備されていて本当に便利で旅人にもありがたい、特にトイレが（トイレのことばかり書き、誠にすみません・笑）。



今なつては消失した本殿横に小径があつた、これを進むと「順徳天皇第二皇女・忠子女王墓」にたどり着く。参道には苔が張り付き、あまり人が訪れていないようだ、足元に気をつけ先に進むと宮内庁のいつものアレが現れた。「忠子女王墓」に近づいてみれば、玉垣の中には雑草が生い茂っている。これも宮内庁さん、なんとかならないのでしょうか？

純粋な佐渡観光へ、佐渡といえば金山と新能！？

「忠子女王墓」で佐渡の「八四代・順徳天皇（上皇）」足跡散策もあまし終わつた、まだ時間があるのだから純粋な佐渡観光を楽しんでみることにした。

佐渡といえば、昨年二〇二四年にユネスコ世界文化遺産に登録された「佐渡金銀山」（登録、おめでとうございませ）、この訪問時にはまだ登録はされていなかった。吾輩には先見の目があつたのだらう（笑）、「史跡・佐渡金山（相川金銀山）」へ向かった。

車を走らせること、「順徳天皇第二皇女・忠子女王墓」より約一四キロ・約二〇分、「史跡・佐渡金山（相川金銀山）」へ到着。入場料一五〇〇円（大人）、ここはちゃんと払つて場内に入場する（シブチンでは決まてないだらう・笑）。この施設では一枚のチケットで「宗太夫坑（江戸時代）コース」と「道遊坑（明治時代）コース」、二つの坑道を自由に見学することができる。両方を見には所要時間が一時間半ほどかかるが、時間に余裕がある方におすめの観光スボットだ。

この鉱山は、一六世紀末から二〇世紀末までの間、国内最大の金銀産出量を誇り国の財政を支えていた、江戸幕府、明治政府の打ち出の小槌だつたのだ。江戸時代の「宗太夫坑」では、人形を使って当時の手掘りでの採掘作業を再現していて、なかなかのリアリズムを感じられる（少々、不気味だつた・笑）坑道だ。それに比べ「道遊坑」は、明治期の文明開

で質素な御所だつたんだと思われる。そんな御所にでも、「順徳上皇（天皇）」が敷地の四隅に御持仏「観音・弥陀・薬師・天神」を祀つて、毎日欠かさず礼拝されていたと伝えられてもいる。清負、美しく生きる姿が目につかふ、我輩も見習わなければいけない。



御所跡も玉垣に囲まれ、まるで聖域を守るように整備している。

白・紫・群青色の菖蒲は、佐渡で生まれた御三方に見えた「黒木御所跡」を後にしてきた道を少し戻り、次の目的地「順徳上皇第二皇女・忠子女王」を祀る「二宮（にくう）神社」へ向かう。車で約八分「二宮神社」に到着、ここには駐車場がないのだが参道入口付近の道が広かつたので、そこに駐車させていただいた。



「二宮神社」参道橋より。朱色の立派な鳥居に「白・紫・群青色」は、野に遊ぶ「順徳上皇」のお子に見えた。

花による機械化が進んだ「近代化産業遺産群」が残っていた。そして「道遊坑」の見どころ撮影スポットとして「道遊の割戸」がある。漫画のように山がバツカリ真つ二つに割れている、この「道遊の割戸」は是非見ていただきたい。これを見たら、さすが東洋一の鉱山と謳われただけあると思える。



これが「道遊の割戸」！ 明治期に発液で「ボカン！」をやつたのか・・・

「史跡・佐渡金山」はよく歩いた・・・、少し疲れたので夜に備え宿へ戻ることにする、両津港方面へ所要時間約四五分、頑張つて運転だ（苦笑）。宿に着けば、一旦「整える」ため温泉に浸かり体を休ませようと言い車を走らせた。

チェックイン後、一目散に温泉へ向かい疲れを癒した。また、ここから見える加茂湖は誠に美しかった、さすがは日本百景の一つ風景だ。これで、気持ちも新たに夜の町へ繰り出す、決して飲み屋にはなく高尚な文化財見学に！向かうは歩いてすぐ、信州「諏訪大社」の分神「椎崎諏訪神社」。夜の帷が下りれば、ここ「椎崎諏訪神社」の新潟県指定・有形民俗文化財「能舞台」で幽玄なる「新能」が演じられる。吾輩は能など和芸能に疎いが、還暦も過ぎた写真家だ、何より天皇御陵を巡り撮影もしている、そんな自負の年を持ち能舞台観賞にきたのだ。

観衆が集まり日が落ちると松明を持った演者（？）があらわれた、舞台が始まる・・・真剣に理解しようとししばらく眺めているが、演目の内容がよくわからない・・・。有ろう事かいつの間にか「ウトウト」と船を漕ぎ出す始末・・・、残念なことに気がつけば終演間近だ。「これではいかんぞ！」と思い、終演までしっかりと見ようとしたが無理だつた。

終演後、多少なりとも「佐渡の能」を理解したく、誰かに話を聞きたいのだが・・・。観客が退席していく中、運良く能舞台の世話役のような方を見つけ声をかけた。吾輩より人まわり上の先輩にお話を伺うことができた、早々に疑問を投げかけた。「なぜ、この島に能がこれだけ普及したのか？」とその疑問対して謎みなく、丁寧にお答えくださった。

『一番大きな要素に「世阿弥」が、一四三四年に佐渡に配

この「二宮神社」の元は、「順徳上皇第二皇女」誕生に伴い鎌倉幕府によって築かれた仮殿だつた。その敷地内に「野菖蒲」が美しく咲いていたことから、「順徳上皇」が「菖蒲殿」と名付けたと伝わっている。参道には、少しだけ「菖蒲」が残っていた、「おお、いい画だ」と思いアングルを探して撮影することにした。この旅、初めての本気のアングル探しをする吾輩だつた。

この「忠子女王」も若くしてお亡くなりになられていて、娘をもつ身として健気に咲いている「菖蒲」を見ると「忠子女王」と重さなつたのかもしれない。誠に年寄りの気まぐれだ（苦笑）、が、良い写真が撮れた。

鳥居をくぐり境内に、拝殿へと進み参拝を終える。神社の御祭神は「玉嶋姫大明神」と言い当然「忠子女王」をお祀りしている。社殿は、「順徳上皇（天皇）」から五代後の「八九代・後深草天皇」の御世に「二宮大明神」として建立されたと伝わっている。

境内は思いより広く拝殿の右手前には「茅葺き寄棟造（よせむねつくり）」の「能舞台（佐渡市指定・有形文化財）」が建っていた。印象としては相当古く、今は使用していないと思いきや、現役のに能舞台で毎年八月に薪能が行われていた・・・。

ただ、残念のことに本殿と能舞台は、度重なつた火災（二〇二一・二三年）で両方とも消失してしまつた。残念なことだ・・・、現在は本殿（拝殿）は再建されている。この時は、知る由もなく撮影していた、今となれば貴重な一枚だ。



2021年、消失した本殿。



「茅葺き寄棟造（よせむねつくり）」の「能舞台」、2023年に消失

余談だが、写真家という仕事をしていると各地の文化財の撮影もあり、天皇陵踏破旅でも多くの文化財に訪れた。そんな文化財の火災ニュースを聴くたびに心が痛む・・・、世界遺産・白川郷の火災予防システムは無理としても、せめてスプリンクラーを備えてくれれば。地方の予算では無理か・・・虚しい。愚痴が出た、話を佐渡紀行に戻そう。

流されたことでしょうね。その後、江戸時代に金銀山が発見されて幕府が佐渡を天領したことで、赴任してきた役人が「猿楽師」の子孫だつた。その随行員に多くの能楽師もいたんですよ。」

「なるほど。最初は「猿楽」だつたんですね。今でいう「モノマネやコント」みたいなものだから、庶民文化として根付いたんですか。」

「そうだと思います。「猿楽」から豊作を祈る「田楽」になり、神さまへの奉納神事の「新能」に移り変わったんでしょうね。」

この後も話が続き要約すれば、この島にはかつて約二〇〇ヶ所ほどの能舞台があつて、今でも三五ヶ所も残っている。日本にある能舞台の三分の一以上が佐渡にあるらしい。ただ、舞台を維持し運営していくのが大変で・・・、それでも住民（高齢者）の手によって守り続けているという。頭が下がる想いだ、お忙しい中に良いお話を聞かせていただき、本当に感謝です。行政に頼らず住民主体で伝統を守っているとは、頭

が下がる想いだ。お忙しい中に良いお話を聞かせていただいた。

本当に「文化を後世につないでいく」ことは至難の業だ、このことは手前味噌ながら「天皇御陵」を巡つていれば理解できる。吾輩は吾輩のことができることを、少しづつでも続けていく、それが日本人としての証のよう

な気がする。たいそうな事は、できないが（笑）、少しでも後世のためになるモノを残しておきたい。

そう誓い、そろそろ吾輩は夜の町へ繰り出し、佐渡の味に舌鼓、うま酒でもいただこう、超辛口純米の「真野鶴」が楽しみだ。



旅のクライマックスに、加茂湖を見下ろす高台に鎮座する「椎崎諏訪神社」の新潟県指定・有形民俗文化財「能舞台」。



百舌鳥・古市古墳群 勝手に世界遺産登録記念

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」

天皇御陵踏破の旅

外伝編

五十路もなかばの頃、ふと考えた。
日本国とは何なのか、日本人とは何なのか
その答えを探す為に、2600年を遡る時空の旅へ出た
イデオロギーなど関係無い、ただ、
今ここに残る時間の集積を写してみたい

写真取材 森本 賢二



③ 古代の追尊天皇らしい風格を持つ御陵。



② 立派な御陵、皇子の陵墓とは思えない。天皇にふさわしい大きさだ！



① 密集した民家の中に拝所入口を見つけた。

日本武尊（やまとたけるのみこと）**陵**

御名 日本武尊 倭建命
生没年 景行天皇二年（四一一年）
時代 大和時代
続柄 景行天皇（父）仲哀天皇（子）
陵形 前方後円

所在地 白鳥陵 大阪府羽曳野市軽里
最寄駅 近鉄南大阪線「古市」下車、約八五〇m、徒歩約二二分

「二代・景行天皇」の皇子で、「四代・仲哀天皇」の父である「日本武尊」。日本書紀では「日本武尊」、古事記での表記を「倭建命」されている、カナ読みはどちらも「やまとたけるのみこと」と同じ。記紀による伝説的な皇族で、「熊襲征討」や「東国征討」など英雄伝記として記されている。また、薨去の後に白鳥となり飛び立った「白鳥伝説」などが語り続けられている、日本書紀には白鳥が舞い降りた場所に陵墓を造ったといわれている。

その御陵は、宮内庁により三ヶ所が指定されている。三重県亀山市の「能褒野墓（のほのほか）」、奈良県御所市「白鳥陵（しらとりのみささぎ）」、そして大阪府羽曳野市にある同名の「白鳥陵」。この羽曳野市「白鳥陵」は墳丘長一九〇メートルの前方後円墳、五世紀後半の築造と推定されている。皇子の墓を「陵」というのは、「日本武尊」の二つの「白鳥陵」のみで、このことから「追尊天皇」格であるといえる。

その御陵は、宮内庁により三ヶ所が指定されている。三重県亀山市の「能褒野墓（のほのほか）」、奈良県御所市「白鳥陵（しらとりのみささぎ）」、そして大阪府羽曳野市にある同名の「白鳥陵」。この羽曳野市「白鳥陵」は墳丘長一九〇メートルの前方後円墳、五世紀後半の築造と推定されている。皇子の墓を「陵」というのは、「日本武尊」の二つの「白鳥陵」のみで、このことから「追尊天皇」格であるといえる。

所在地 能褒野墓 三重県亀山市田村町
最寄駅 JR関西本線「井田川」下車、
約一・六km、徒歩約四〇分

三重北部で最大級の古墳のひとつ「能褒野王塚古墳」、形状は前方後円墳で墳丘長六〇m。この古墳の実際の被葬者は明らかでないが、一八七九年（明治二年）に内務省により「能褒野墓（のぼののほか）」に指定された。現在も宮内庁により指定され管理されている。
内務省が指定した裏付けとして、記紀による「日本武尊」が東国平定後、「伊吹山」に住む荒ぶる神の討伐に行くが、そこで重い病を患い故郷の大和に帰還しようとする。その途中、能褒野（この地位域を「のぼり野」「のぼの原」と云わる）において最期を迎えられたことによる。また「延喜式」にも墓は「能褒野墓」と伝わっている。



4 駅より30分、安楽川の橋を渡れば「能褒野王塚古墳」が見える。



5 「能褒野墓」に到着。宮内庁の立て札がある、あまり手入れされていないのが古く見える。この地から白鳥となり飛び立った「日本武尊」、その地に立つと悠久の浪漫を感じるな。



旧中山道沿いに小さな鳥居を発見。居醒の清水の源を祀っているのだろう。中に入れば日本武尊像がおられた。

所在地 居醒の清水 滋賀県米原市醒井五八
最寄駅 JR東海道本線「醒井」下車、約七五〇m、徒歩約一〇分
記紀に綴られた「日本武尊」の伝説の地「居醒の清水（いさめのしみず）」を訪れる。JR東海道本線「醒井」を下車、「旧中山道」沿いを約二〇分ほど歩けば「居醒の清水」に到着。この清水は「日本武尊」が「伊吹山」に住む神の討伐時に熱病に倒れ、その体骨を洗い流し清めた霊水と言われている。その清水の源に鎮座しているのが「加茂神社」、その聖域に「日本武尊」像は建てられている。
「居醒の清水」を源流にして「旧中山道」脇を流れる「地蔵川」は、二〇〇八年度『平成の名水百選』で一位を受賞している。また、川には「梅花藻（ばいがも）」という藻が生息し七月下旬から八月下旬にかけて花を咲かす。その藻に産卵する絶滅危惧種「ハリヨ」という魚も見ることができる。美しく清き流れの小川。



6 「居醒の清水」の源流。「梅花藻」が揺れている、天気が良くないのが残念だ。



1 坂を登り円を描くように進むと拝所が見える、正面からの一枚。御陵の大きさが分かりづらい・・・。

神功皇后（こうこう）陵

諱 氣長足姫（おきながたらしひめ）

生没年 成務天皇四〇年（神功皇后六九年） 時代 古墳時代前期
続柄 仲哀天皇（配偶者） 一五代・応神天皇（子） 陵形 前方後円

所在地 狭城盾列池上陵 奈良県奈良市山陵町
最寄駅 近鉄京都線「平城」下車、約四〇〇m、徒歩約六分

「神功皇后」は、明治時代まで一部史書などに「一五代・天皇」と記され、初の女帝（女性天皇）とされていた。だが一九二六年（大正一五年）の皇統譜令に基づき皇統譜より正式に歴代天皇から除外された。

その足跡は、一九二三年（仲哀天皇二年）「二四代・仲哀天皇」に立后され皇后となる。「仲哀天皇」の九州・熊襲征伐に随伴したと言われ、二〇〇年（仲哀天皇九年）の天皇崩御後、その意志を継ぎ「熊襲征伐」を達成した。また同年、海を越え「三韓征伐」をも達成し「新羅・百濟・高句麗」を服属したとも記されている。帰国後、筑紫の宇美で「仲哀天皇」の遺児「磐田別尊（後の一五代・応神天皇）」を出産した。畿内にて反乱を起こした「香坂皇子、忍熊皇子」、「磐田別尊」にとつては異母兄にあたる一人を乱の平定により排除し、その後「磐田別尊」が「応神天皇」として即位する。「仲哀天皇」崩御から「応神天皇」即位までの約七〇年間、摂政として初めて統治したとされている。

その御陵は奈良市山陵町にある「狭城盾列池上陵」で、遺跡名「五社神古墳」とも言われている。墳丘長は推定復原で二七五m（後円部直径・約一九四m、前方部幅・約一五五m、高さ・約二六m）あり全国一二位の規模の前方後円墳である。

また宮内庁が「神功皇后陵（狭城盾列池上陵）」に指定されている遺跡名「五社神古墳」の周辺には、小規模な墳「陪家」が数基存在している。現在、指定されているのは「湊内陪家」と「飛地陪家（い号・ろ号・は号・に号）」四ヶ所、合わせて五ヶ所ある。しかし、いずれにしても詳細は不明である。

「陪家」とは、大型主墳（主墳）の周囲に配置された小型主墳のことをいい、主墳の埋葬者の近親者・従者の墓であると考えられている。または、主墳埋葬者の副葬品を納めた「陪家」も存在する。



2 神功皇后陵（狭城盾列池上陵）



6 「飛地陪家に・は号」



5 「飛地陪家に・に号」



4 「ろ号」の先に「飛地陪家に・い号」



3 「飛地陪家に・ろ号」

旅の土産・キーホルダーと記念コイン



全日空トライスター・表



全日空トライスター・裏



沖縄国際海洋博覧会記念硬貨・表



沖縄国際海洋博覧会記念硬貨・裏

1975年
沖縄国際海洋博覧会
記念キーホルダー



沖縄編

行っても無いのに「沖縄国際海洋博覧会」キーホルダー。

今回の「家のじゃまけモノ」は、関西大阪万博記念の第二弾～！（笑）。それは、1975年（昭和50年）に沖縄県の日本本土復帰記念事業として沖縄県国頭郡本部町で開催された「沖縄国際海洋博覧会」のキーホルダーと記念硬貨です。この海洋博のテーマは「海・その望ましい未来」と言って、当時の「特別博（現在・認定博）」としては史上最大の規模だったんです。

※関西大阪万博は「一般博」の『登録博』、沖縄国際海洋博覧会は特定の分野に焦点を当てた「特別博」で『認定博』と言います。

この「沖縄国際海洋博覧会」の「いやげモノ」は、従姉妹のお姉さんの新婚旅行土産だった。当時、メディアを含めた企業や内地人たちは、沖縄県の日本本土復帰を喜びすこく賑わっていたんです。テレビCMでは、白い砂浜や青い空、エメラルドグリーンの海を映し出した航空会社のキャンペーンが引っ張り無しに流れていました。その流行に乗り、ご多分にれず、お姉さん達は新婚旅行の行き先を沖縄にしたんです。そのお土産がいやげモノとは・・・（悲しかった・笑）。

旅の土産・ピンバッジ



信州・白樺湖



山口・萩



紀泉高原

キーホルダーに紛れて見つかった、小さいいやげモノ「ピンバッジ」

天袋から、令和の世に昭和より時空を超えて（笑）現れた「いやげモノ」キーホルダーの中に紛れていた観光地のピンバッジ・・・見たときはキーホルダーの鎖部分が切れたヘッドかなと思いきや！？よくよく見てみると「ピンバッジ」だった、それも観光地のお土産の・・・。でたよ、子供が喜ばない「いやげモノ」・・・。

そもそもピンバッジで危ないんだよね、ピン（針部分）部分を鞘の様にしまい込むピンカバーが外れたら、皮膚にグサリと突き刺さり。今なら安全性を考えれば、子供にあげるなんて絶対にアウト！！その上、小学生が服や野球帽にこのお土産バッジつけるか～？

まだしもプロ野球バッジなら分かるけど。当時は完全なる「いやげモノ」、今では「家のじゃまけモノ」です。

昭和がうつつノスタイル

家のじゃまけモノ



天袋、家の掃除をしてみれば 出るは出るは、あの日のお宝？

誰が行ったか知らないが 旅の土産のキーホルダー

叱られて、取り上げられたプラモデル

勉強用、買って使わずヒーローノート

誰が聴いたかビックスター昭和歌謡のSP盤

娯楽といえばプロ野球 知らぬ球団、バッヂをつけて草野球

あの頃、捨てずに残したお宝も 今じゃ「家のじゃまけモノ」



昭和歌謡のSP盤レコード

女性スター編

男性歌謡の次は女性歌謡、ほんとに誰がしまっていたのだろうか。

ゆうちゃんとサブちゃんのレコード共に見つかった、昭和の超～超～！大物！ビックスター「美空ひばり」さんのLPレコード。調べたところ、「ひばりのマドロスさん」を代表とする「マドロスシリーズ」が収録された企画アルバムだそうです。そして、このレコードは「美空ひばり」さんの初LPレコードでもあるのです、意外と貴重なレコードなんですね・・・。きっと、これは母が買ったのだろう、よくお風呂で下手な歌を歌っていた（笑）。

発売の昭和33年は、当時、皇太子・明仁親王（上皇陛下）と正田美智子（上皇后陛下）の婚約発表で「ミッチー・ブーム」が巻き起こった。それと、今年六月にお亡くなりになられた「ミスター」こと「長嶋茂雄」さんが「読売ジャイアンツ」に入団した年ですね。

そして、もう一枚は「三沢あけみ」さんの「お好み三沢あけみ傑作集」。1959年（昭和34年）の第7期東映ニューフェイスに合格し翌年に俳優としてデビュー、1963年（昭和38年）ビクターレコードより歌手デビューされたそうです。デビュー曲の「ふられ上手にほれ上手」が余りにも色気がありすぎて、なんと放送中止になってしまいました（辛かったですよね）！同年、セカンドシングル「島のブルース」が大ヒット、第五回日本レコード大賞の新人賞を受賞し、その年の「NHK紅白歌合戦」にも初出場できました。このLPレコードには「ふられ上手にほれ上手」「島のブルース」が収録されています（聴けないけど）。

これを買ったのは間違いなく父だと思ふ、父曰く、若い頃の母は「三沢あけみ」似ていたと子供の前で惚気？していた（笑）。



美空ひばり 美空ひばりのマドロスさん（LP盤）
販売元 コロンビアレコード
販売年 1958年（昭和33年） 定価 1,000円

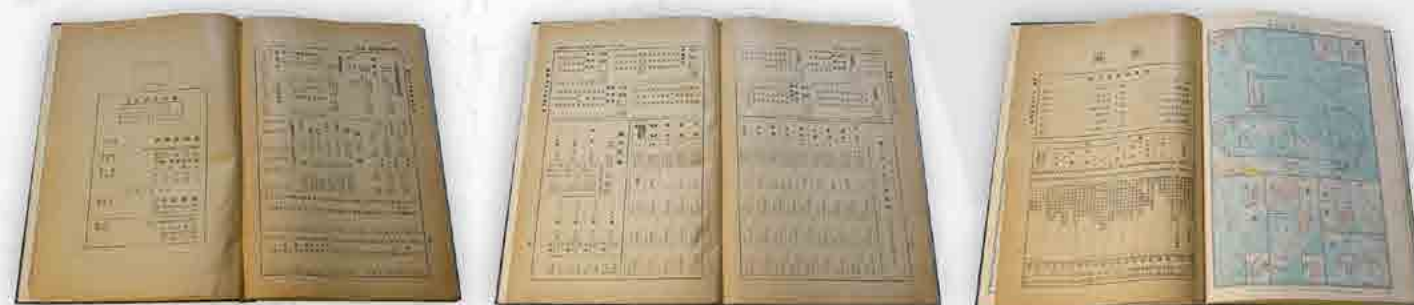


三沢あけみ お好み三沢あけみ傑作集（LP盤）
販売元 ビクター
販売年 1964年（昭和39年） 定価 1,000円

そのようなことを考えページを進めると、いつの間にやらカラー最終ページに辿り着きました。そのページに掲載されていた地図は、「第一次世界大戦」後に日本の委任統治領となった現在の北マリアナ諸島・パラオ・ミクロネシア連邦・マーシャル諸島共和国などが「我が南洋群島」と表記され載っています。これを見て思い至ったことがあります、当時一億人満たない人口の国が余りにも急激に領土を増やしすぎたことで、大きな負債を後に払うことになったのでしょう。それは、今現在も払い続けています。

最後に、今も世界の各地で紛争や戦争が起こっています……。願わくば、勝敗などつけずに被害を最小限にとどめるため「妥協点」を見つけ解決の糸口を見出して欲しいです。これは、大きな敗戦を経験した国の人間からの願望かもしれませんが。

今回の「家のじゃまけモノ」はいつもと違い、少し真面目に書きました（ものが物でしたので・笑）。次回からは通常運転になる予定です！ でも、この一冊のお陰で今は亡き父と邂逅できたことを感謝します。



発行元と発行日それに定価が掲載されている 付録（データ）ページ「地域別の人口統計ページ」 「我が南洋群島」と表記された太平洋西部の地図

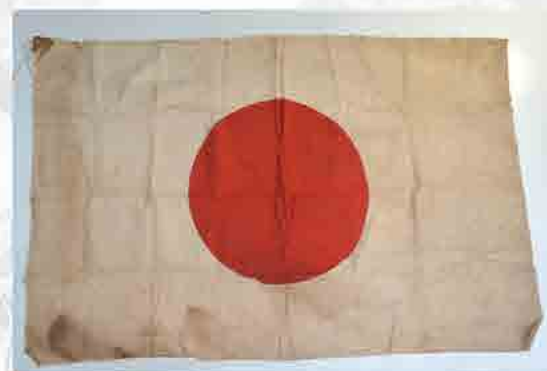
大東亜戦争割引国庫債券と日章旗

戦前、戦中を乗り越えて令和に現れた我が家の「日章旗」

昨日は八〇回目の終戦の日でした、長い歳月が過ぎています……。今回も前回に引き続き戦前・戦中の「家のじゃまけモノ」をご紹介します。

前回の「帝国書院・改訂・帝国新地図」と共に直されていたシミだらけの「日章旗」と、今となればただの紙屑「大東亜戦争割引国庫債券」です。「日章旗」はじゃまけモノではございません、ただ、シミが凄くクリーニングしたところで汚れは落ちそうにありません。それに、ボールに結ぶヒモの部分が破れ欠落していました。でも、よくこれも残っていたと感心いたします。

シミはあるが桐箱に入れられ大切に保存されていた日章旗



第十五回大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券五拾圓昭和一九年発行



特一号大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券拾圓昭和一七年発行

これぞ、じゃまけモノ。ヤフオクに出しても元の価値に遥か届かない

そして、もう一つのじゃまけモノ、それは、「大東亜戦争割引国庫債券」。これは正真正銘の「家のじゃまけモノ」でございます（笑）。終戦の日を境に、ただのゴミ屑化した印刷物です。この「第十五回大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券五拾圓」は終戦の一年前、昭和一九年発行の国債です。戦時中、政府が資金調達のため国民に売り出したものなのです、翌年に敗戦を迎え満期の昭和二九年を待たずに紙屑化いたしました。当時の五〇円の価値は幾らだったのだろうか……。

もう一枚の「特一号大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券拾圓」は、昭和一七年に発行されている。債券の向かって左上には「シンガポール陥落記念」と印字されています、シンガポール陥落を陥落しても戦争遂行するため戦費調達が必要だったんでしょうか。

両債券は「ボツダム宣言」を受諾した昭和二〇年八月一日をもちまして紙屑となったのです。「大東亜戦争割引国庫債券五拾圓」は昭和二九年満期で、「拾圓」の方は昭和二七年満期。当時、父は満期なり幾ばくかの配当を得られると思っていたのでしょうか。



「帝国書院 改訂 帝国新地図」のハードカバー表紙

表紙・裏には日本帝国の地図、対抗ページは記号の説明

見開きカラー・3ページに渡り掲載されている「台湾地方」の地図

日本地図（昭和初期発行）帝国書院

今では役に立たない地図を発見……

終戦記念日近くに見つけてしまった今回の「家のじゃまけモノ」は、昭和一三年二月一七日発行「改訂・帝国新地図」。表紙はハードカバーの上製本で地図ページはフルカラー三三頁、付録（データ）ページがモノクロ八頁、定価六拾五銭。定価の六拾五銭を現在の価値に換算すれば、約一万から一万五千元！ 凄い豪華本なのです。「よくこんな物を残していたんだなあ……」とページを開いてみることにしました（今回はちょっと真面目に・笑）。

ページを捲り、ゆっくり眺め、またページを捲る間に年少期の父との一幕を思い出したのです。私の父は大正中期の生まれで、先の大戦に2度ほど出征していました、一度目は開戦まじかだったと母から聞かされました。2度目は終戦まじかまで内地の兵舎で敗戦を迎えたいののです。というのも、父からは一切、戦争（戦地での）体験談を聞いた事がないからです、それが小学校での課題であつてもでした。唯一、語ってくれたのは、家族旅行で行った温泉で「軍隊式手ぬぐいの使い方」でした。一本の手ぬぐいで顔と体を洗い、その手ぬぐいで体を綺麗に拭く方法でした（笑）。ちなみに私と父は四八歳違い、世間で言う「みそっかす」なのです（笑）。

父に比べ、母は饒舌に戦争を語っていました。「お父さんが出征していない時、深夜、空襲に合い焼夷弾で燃え盛る家から塩壺だけ持って逃げた」とか「日中、機銃掃射され溝に隠れ難を逃れた」とか。そして話の最後の決め台詞は「私があの時死んでいたら、あんたは生まれてこなかった」と懐かしい思い出話です。

近代国家の建設・独立の維持・国民の生活向上、その答えは「富国強兵」だった

ページを進めていくと、ご維新後1895年（明治二七年）、初めての対外戦「日清戦争」を翌年に勝利。下関条約により、台湾と澎湖諸島が日本に割譲され日本領となりました。当然、昭和初期発行のこの地図帳に・見開きカラー・3ページに渡り「台湾地方」が掲載されています。

続けて「北海道地方」、その次のページには「樺太地方」が紹介されています。「樺太」は1904年2月（明治三七年）より1905年9月（明治三八年）にかけて大日本帝国（日本）とロシア帝国との間で行われた「日露戦争」後、ポーツマス条約により「樺太」の南半分（南樺太）が日本に割譲された領土です。このページはなぜか1ページのみ、極寒の地なのでデータ収集に手抜きがあつたのかもしれませんが（笑）。その後のページには、この戦で日本の租借地（満洲善後条約）になった「満洲国・関東州」も載っています。

明治時代に二度の対外戦争を勝利に収めた日本国民は、この成功例を糧にさらなる飛躍を願ったのでしょう。

考えさせられる一冊の「家のじゃまけモノ」

この「帝国新地図」を見ていて一つ気付いたことがありました、私は父に対して大きな誤解をしていたかもしれないと。父が沈黙を守り、決して戦争体験談を話さなかった理由を、私は勝手に「戦場で亡くなった戦友や民間人への贖罪の気持ち」だと思っていたのです。それも一つと思うのですが、他にも理由がある気がしてきました、それは「父の父」また「父の父の父」が対外戦争で勝ち進み国を大きく豊かにしてきた。なのに自分達が先の大戦（第二次世界大戦）に負け、一度は国を失い多くの国民を不幸にしてしまったことを、祖先に対し責念を感じていたのかもしれませんが。負けたことを悔やみ「敗者は何も語らず」なのでしょうか、もう確認することはできませんが。

第24回

「世界遺産の街・堺市でイルカと触れ合う」 ノアドルフィンダム（大坂府堺市）

住 所 大阪府堺市堺区大浜北町 4-1-1
開館時間 10時～20時（触れ合いプログラムは午後5時終了）
休 園 日 年中無休
見 学 料 大人（中学生以上） 1210円 小人（3歳未満は無料） 770円
駐 車 料 なし（近くに有料あり）

「2025年3月25日にオープンした、都市型イルカ触れ合い施設に訪問！」

「世界遺産の街」「東洋のベニス」「環濠都市」と言われる堺の玄関口「南海本線・堺」を下車して旧堺港方面に歩けば、真新しい建物「ドーセットバイ アゴーラ 大阪堺」が見えてきます。ほぼ、その並びに「ノアドルフィンダム」があります。駅から歩いて約七分くらいで到着ですよ。「ノアドルフィンダム」の入口は立体遊歩道下の一階にあり、エントランスからはイルカが泳ぐプールの底が見えます！ 期待に胸を膨らませ、見学場の二階へ上がれば天井からの採光が気持ちいい空間にメガネ形のプールが「ドド〜ん」と現れました。

堺旧港の新しいランドマークとして誕生したこの「ノアドルフィンダム」は、「イルカと共に人生をより良くする」をテーマに、年齢や障がい有無を問はずイルカと人がふれあい遊べる空間を提供しているのです。また、海洋動物・海洋環境などを学べる企画も随時開催する予定で、大学や各研究機関とも連携することで研究活動にも貢献しているんですって。

さあ〜、イルカさんと触れ合ってみますね！

早速、めざとく、近づいてくるイルカさん！にビックリ！

土曜日の午前中なのに人もまばらだったので、イルカさんが寄ってきそうなプールサイドを選んでいたら！ 一頭のイルカさんと目がパッチリ合う〜、みるみるうちにこちらへ近づいてくるのです。まるで、「遊ぼうよ」って誘うようにです。プールサイドから触れる距離に縮まると、恐々ながら（苦笑）手を差し出したら「あら、不思議！」、イルカさんから擦り寄ってきたのです。初めはどこをさわれば良いのか分からず、顔や頭を触っていましたがスタッフさんに「背中を撫でてあげてくださいね」と言われ焦ってしまいました……。イルカさんの顔・頭近くはとても敏感らしい、ごめんねイルカさん（許してね）。

事前予約でいろんな「触れ合い」オプションがありますよ〜。

そうこうしていると、浅瀬にウェットスーツを着た人たちが集まってきました。それに伴い、イルカさんがそちらの方に泳いでいっちゃった……。今から「触れ合いプログラム」のひとつ「ドルフィンスイム」が始まるようです。「ドルフィンスイム」はウェットスーツ（貸出代は料金に含まれています）を着て水の中でイルカと触れ合うことができ、最後には背鰭につかまりプールの一周泳ぐんですよ、良いですね！

「ドルフィンスイム」プログラムが終わりしばらくすると、また新たなプログラムがはじまりました。イルカに触れて、餌をあげることができる「餌やり体験」。これなら水が苦手な子供ちゃんでも楽しめますよね。それに、もう一つは浅瀬でイルカと遊ぶ「浅瀬で遊ぼう」プログラムです。これも、ウェットスーツまたは胴付長靴を着用するので水に濡れても気にならないですよ。

1日3回のトレーニングタイム、「えっ！」これが料金内で見れるなんて〜

3つのプログラムが終了したら、スタッフの皆さんがイルカトレーナーに早変わり〜。四頭のイルカさんの個別のトレーニングがスタート。黄色いぼんぼりが付いた指示棒の合図でジャンプのトレーニングを始める子、尾鰭で水をかき出しプールサイドの観客にかけつける練習？をする子もいて、なんだかイルカが遊んでいるみたいです。

そのうち、4頭がプールのぐるぐる回り出した〜。トレーナーなお姉さんが手を差し出すとジャンプ！ おお、すごい迫力だ〜！ これもトレーニングなんですね。

この「ノアドルフィンダム」凄すぎる！ 1210円の見学料金でここまで楽しめるなんて思ってもいなかった。見学は端っこの方にスペースがあって、そこから見るんだと思っていたので。運が良ければイルカに触れることもできるし、間近で大迫力のジャンプも見ることができる、最高の動物触れ合い空間です！

現在、大阪で開催中の万博にお越しの際、是非、堺市まで足を伸ばして「ノアドルフィンダム」にきてください。新しい堺の名所と出会えますよ（笑）。

ぶちもふ どうぶつ探訪



●ドルフィンスイム
体験時間 30分
大人（中学生以上）14,300円
小人9,900円（年齢・身長制限あり）
ウェットスーツ、ライフジャケット貸出は
料金に含まれています。

おまけ物？ キーホルダー編

ちょっと懐かしいキーホルダーとおバカ満開のキーホルダー！！

今回の「家のじゃまけモノ」は、分類できない「？」キーホルダーです！ ひとつは「コカコーラ」のキーホルダー、これは確か1970年代に販売されていた「コカコーラ・ホームサイズ500ml」を半ダース（6本）買えばついてくる「おまけ」だった気がする……。

記憶では、ウチに居た親戚のお兄さんから貰ったはず。当時、家に親戚のお兄さん2人とお姉さん1人が居候していて、よく居間でコーラを飲んでテレビを見ていた。その時にお兄さんをお願いして、このキーホルダーをいただいたはず。今から考えれば、自ら欲しいキーホルダーがあったんだ！ て驚いてしまった。

一応、記憶が定かではないので調べてみたら、「コカコーラ工場見学参加者にもらえる記念キーホルダー」と書かれていた……。違う気がする、ウチの近くにコカコーラ工場なかったから。間違いなく景品だ！

2つ目、3つ目は、チョ〜おバカなキーホルダー！ 小学校近くの駄菓子屋の1回50円位の高級「くじ引き」の景品だ（景品ていうのかな・笑）。ひとつは全身骨格モデルのガイコツ……。もうひとつがグリーンが目玉のドクロ。

この「くじ引き」覚えてる人いるかな（笑）、壁に吊られた厚紙に50個くらいの景品が引つ掛けられていて、その景品の上に番号が振られている。専用マッチ箱のような箱に1cm角のくじが入っていて、捲れば番号が書かれていてその番号の景品が貰える仕組みなのです。バカですよ、こんなくじに無駄遣いをして。

昭和がラウリノスタイル

家のじゃまけモノ

コカコーラ・ホーム
サイズのおまけ
キーホルダー



やれに短足な
ガイコツ、こ

使い込んだ跡が
残るドクロキ
ーホルダー、
何に付けてい
たかは思い出
さないです。



裏表紙・裏は、なんとババルタン星人のぬりえ。ぬりえのタッチは少し弱め……。梅図かずお先生もウルトラマン描いていたな、なんだかこのタッチ似ている。



表紙・裏はネロンガのぬりえ

表紙はウルトラマンとネロンガが、
まだ珍しかった高速道路を跨いで戦っている。

ウルトラマンノート・ショウワノート編

あの「ジャポニカ学習帳」の昭和ノートの「ウルトラマンノート」！

ウルトラシリーズノート、最後の一冊は「ウルトラマンノート」。このノートの販売元は昭和ノート株式会社で、「ウルトラQノート」の極東ノートから代わっていましたが（何か問題でもあったのでしょうか？）。このショウワノートは、小学館の「ジャポニカ百科事典」とタイアップしたロングセラー商品「ジャポニカ学習帳」を販売もしていましたね（懐かしい〜）。

さて、このノートの表紙ですがイラストです、左下にプラモデルのパッケージ画などで有名な「梶田達二」画伯のサインが印刷されています。写真じゃないという事は、「ウルトラマン」放映前か放映開始すぐに発売されたノートなんでしょうね。怪獣は第三話「科特隊出撃せよ」に登場した「ネロンガ」です、「ウルトラマン」の描写はイマイチ（すみません・笑）ですが「ネロンガ」の精密さに驚嘆されます！ さすがは「梶田達二」画伯です。

裏表紙には、表紙とは違うタッチのペン画で「ウルトラQ」の怪獣が描かれています、やはり放映に合わせ発売されたんですね。表2・3には昭和ノートさんお得意の「ぬりえ」がありました。

裏表紙に「ウルトラQ」の怪獣14体
が紹介されている。



ソノひヨリ

Visit the one and only village in
Osaka Prefecture,
Chikagasaki Village

2025
Aug. 13day

第三九話 大坂府千早赤阪村

『大坂府唯一無二の村「千早赤阪村」へ』

大坂市内から約一時間で秘境感あふれる千早赤阪村に行ける！

今回の旅は大坂府唯一の「村」、南河内部に属する「千早赤阪村」に小旅行。「なぜ、千早赤阪村」かと言えば、業界の先輩でカメラウーマンのM先輩が古民家を購入したとお聞きしたので、お祝いがてらの表敬訪問なのです。もちろん、ちょっと気になる名所も楽しみに「近鉄・大阪阿倍野橋」から「近鉄長野線」で「富田林」を目指した。

「千早赤阪村」への最寄駅「富田林」は思ったより栄えていてびっくりした（笑）と言うのも、四〇年ほど前の学生時代に隣町「河南町」で四年間を過ごしていたからだ。駅舎は新しく美しくなっていたし、駅前ロータリーの向かいには観光案内所「とんだばやし・きらめきファクトリー」が開設されていた！昔を思えば、この町が観光地になるなんて考えも付かなかった。駅前をぶらぶらしている間にバスの出発の時間が近づいたので、ロータリーに戻り「南海バス・千早線」乗り場に急ぐ。

ここで、「千早赤阪村」のことを簡単に説明しときます。歴史的には「太平記」で有名な「楠木正成」生誕の地で「赤坂城の戦い」などの史跡が多くあり、今日も「楠公」ファンが訪れます。そして、なんと言っても大坂府唯一の「村」、人口は約四三八〇人（現在）で平成二八年に府内初の過疎地域に指定された・・・。

そのためか、富田林から千早赤阪村までの移動手段（公共交通）のバスが二〇二三年二月をもって金剛バス事業廃止に伴い廃線になってしまったのです！高齢者も多い村にとって、隣接する富田林市にある病院までの足を失いかけてしまった。ある意味、ライフラインが無くなることを間一髪「南海バス」と「千早赤阪村コミュニティバス」が運行を決定することで村が救われたのです（よかった！）。そんなバスに揺られ、約二〇分ほどで「千早赤阪村役場前」に到着。

既に「千早赤阪村役場前」には、先輩さんの姿が・・・、恐縮にも車で迎えにきてくれました（汗）。あいさつを済ませて、早速古民家見学に向かわせていただきました。役場からほどなく車で約五分、古民家近くに到着・・・これなら歩いて来れましたよ（笑）。

せつかなので集落の前で車を降りて千早赤阪村を少し散策、意外にも新築の家が多く過疎化しているイメージとは違っていた。ただ、石垣と側溝付近には「マムシ注意」、略して「マム注」の立て札があった、懐かしい（大学の構内にも多く立っていた・笑）。

現役世代や子供たちも集落で暮らしていたので、写真撮影は控えることにしました。

千早赤阪村の「ランドマーク」でランチ

古民家で話が弾み気が付けば一三時が過ぎ、そろそろランチにすることになりました。ただ、ここでは数少ない飲食店に闇雲に行っても閉まっていることが多いそうです・・・だから、営業中か？電話で確認して行動を取るようにしていると笑っていました。案の定、五件中四件がランチ終りや「ご飯がない（笑）」など断られてしまい、最後の砦だった「道の駅ちはやあかさか」に向かうことになる。

向かう「道の駅ちはやあかさか」は、「道の駅」なのでもちろん無料駐車場があり、三〇〇席のホールと図書館併設した「くすのきホール」、古代から近代にかけての遺跡出土品や歴史資料、正成公ゆかりの品を展示している「千早赤阪村立郷土資料館（入館料二〇〇円）」がある村のランドマーク。

そして無料駐車場の横には、南北朝時代のヒーロー「楠木正成」の「楠公誕生地」として記念碑があります。でも、ちょっとお墓っぽいので驚いた・・・。

車を止め、目的の「道の駅ちはやあかさか」へ、一見すると民家にしか見えない。それもそのはず、自称「日本一かわいい道の駅」を謳っている旗や幟がなければスルーしてしまいそうな小さな道の駅です！

一階は千早赤阪村の物産が売られているショップで、二階は同じく村で採れた食材を使用したカレーなど軽食が食べられる「村カフェ」があります。この「村カフェ」は、小さいながらその展望は中々のものです。目の前には田んぼが広がり奥には大阪平野、振り返れば剛山系を一望できるのです。

また、一階ショップの横には、毎朝九時ぐらいいから「だいたいみたいです・笑」千早赤阪村産の新年な野菜を農家さんが直接持つてくる販売所があります。この日は遅かったので売り切れが多く残念だった・・・。

農林水産省・選定「棚田百選」に選ばれた「下赤阪の棚田」

食事を終えて「道の駅ちはやあかさか」から、もう一つの目的地に向かうことにした。車で五分程で目的地に到着、いつも歩いて行動するので、暑い日は特に車は楽ちんに思えます。

車を千早赤阪消防署前にある「棚田駐車場」に止め、目的地の「日本の棚田百選」にも選ばれている「下赤阪の棚田」に徒歩で向かいました。

歩くこと約一〇分程で「下赤阪の棚田」が一望できる史跡「下赤坂城跡」に到着。この「下赤阪の棚田」は面積七、四ヘクタール、二五〇枚の棚田があり、東京ドームに換算すると約一個半、平地が少ないのうまく作っています。また、平成二六年（二〇一四年）には「美の里づくりコンクール」審査会特別賞にも選ばれているんですって。ちなみに農林水産省が選定した「棚田百選」は、全国一七市町村・一三四地区が選ばれているのみです（百選なのに数が合わないけど・・・笑）。

「棚田駐車場」の後ろの棚田の全景。この棚田も美しい！！



千早赤阪村役場の前には、立派な「楠木正成」像が出迎えてくれた。



築約100年の古民家。席間の襖を開けると、「床の間」がある奥座敷。その横にも2室あり、襖を取っ払えば昔ながらの「田の字作り」になる。



日本一がっすい「道の駅」の駅「ちはやあかさか」名物「村まるごと！耕田カレー」です。



下赤坂城跡からの青々とした棚田の「下赤阪の棚田」の展望。美しいです。ひとつ、残念だったのが撮作されていない、荒れた棚田もあったことです・・・。



少し気になったのは、棚田の中に雑草が伸び荒れているところやポツポツとあった・・・過疎化の問題が棚田からも読み取れます。残念だけどそれも仕方がない、少子化ですものね・・・。せめて観光地として成功して欲しいものです。最後にこれからの「棚田」見頃情報です。訪問したのが八月中旬、九月中はまだ青々とした棚田が見られます。九月下旬〜一〇月上旬ごろには黄金色の稲穂が棚田を彩るんですよ！この時期にも再訪してみたいです。

大阪府の唯一無二の村「千早赤阪村」、大坂市内より公共交通機関を利用すれば約一時間で到着する絶景スポット。先輩Mさんが古民家を購入した気持ちがかかるような気がしました、都会から離れすぎず自然の中で田舎暮らしを体感できて秘境感がある魅力的な場所だった。

一肴

ITIGOU HITONA

酒は日本酒、四季など関係なく燗酒一筋。
真夏に汗かき吞むる燗、真冬に心を解かす熱燗を。
一献一合、酒場の隅で旅路を思う、一合一肴の旅に出る。
暖簾をくぐり席に着く、今日の品書き何だろう、
それが本日の目的地。



酒/小富士 純米 (愛媛県)
肴/瀬戸内産・牡蠣フライ

一三献目

島田酒造
小富士 純米
原料米 松山三井 精米歩合 五五%
日本酒度 一一 酸度 未公開
アルコール分 一五%
産地 愛媛県東温市志津川

本日は宅呑み、愛媛県「島田酒造」さんの看板銘柄で一献。ここは家族経営の小さな酒蔵さん、蔵から見える松山沖の「興居島・伊予の小富士」から命名された「小富士」をいただきます。そのお味は、ダレるような無駄な甘味がなく、だけど旨味がしっくり感じられる、微かに喉き取れるほのかな香り。食中酒としてよくできています。酒蔵さん曰く、「華やかさは求めず、存在感はあるが決して出過ぎない、肴の旨さを十分に引き立てる名脇役な酒を目指しています」と！ その通りのお酒に仕上がっています、冷やでもいい、ぬる燗ならさらにいい酒です。

若旦那さんが自分自身でデザインしたキューブ型サイン、良いセンスです。これが目印ですよ！



お店の外観です。

本日の日本酒メニュー、カウンターの仕事にはつまみメニュー。ルールは店内にあるものは全部飲める。ただし、ボトル・缶 (700ml未満) は「定価」プラス「チャージ100円」、それ以上の酒ならば「定価」プラス「チャージ500円」。



あわす肴 瀬戸内産・牡蠣フライ

瀬戸内のお酒の肴は、やはり瀬戸内のモノを選びたい。それも、名脇役な酒には超主役級の肴を！ 何にするか迷った挙句、町の魚屋のお惣菜コーナーで見つけた「瀬戸内産・牡蠣フライ」、もちろん揚げたてだ。この牡蠣は粒が大きく、甘みが強く、ヒモ部分はしつかり磯の香りが口内に充滿する。穏やかな瀬戸の海に浮かぶ「伊予の小富士」を眺めながらの一献のようだ(笑)。主役を傍から支える名脇役がいてこそ、居は成り立つ、それと同じことが酒と肴にも言える。奥が深い...

酒/天の戸 無濾過 生酒 (秋田県)
肴/玉ねぎ天ぷらおかかのせ

一三五献目

浅舞酒造
天の戸 無濾過 生酒
原料米 秋田県産米 精米歩合 六五%
日本酒度 一一 酸度 一一・六
アルコール分 一七%
産地 秋田県横手市平鹿町浅舞字浅舞



本日、一献の酒場は酒のムラタ屋



「酒のムラタ屋」から、秋田県のお酒を丁寧に醸造する酒蔵「浅舞酒造」さんの「天の戸 無濾過 生酒」で一献です。何か丁寧かと言えば、この酒蔵では「全量生式槽しほり」と呼ばれ、氷点下の温度で行うこの手作業で「一滴」のために時間をかけしほっているのです。その上、今宵いただくのは「無濾過・生酒」！ 一年に一度だけ楽しめる極々限定酒です。その味わいは、冷やで味見をすると「スッキリとした綺麗な生酒」なのだけれど、これが燗酒にすれば豹変する！ 搾りたての旨味が倍増し、ほどよい酸が心地いい旨ながらの旨酒に「一滴一滴に愛を感じる今宵の一献だ」。

あわす肴 玉ねぎ天ぷらおかかのせ 五五〇円

そんな丁寧な生・限定酒の肴には、揚げたて熱々の「新玉ねぎ」の天ぷらをチョイスです。さつくり揚がった衣の中には、甘味たっぷりの水分を含んだ玉ねぎ！ サクッとしっかりとりのアンサンブル、たっぷりかかっている「おかか」もい仕事をしているのです。お米の旨味を感じる「生酒」と取り立て「新玉ねぎ」、まるで天ぷら定食を食べているような気がしてくる(笑)。



酒/山法師 純米爆雷辛口 原酒生酒 (山形県)
肴/ごぼうチーズ

一三六献目

六歌仙
山法師 純米爆雷辛口 原酒生酒
原料米 出羽の里 精米歩合 七〇% 日本酒度 十二・八
酸度 一一・三 アルコール分 一八%
産地 山形県東根市温泉町



本日は町の酒屋一筋五〇年、大鳥大社門前近くの「さかしの酒屋さかえ」さんの魚打ちで一献です。今回は異例の冷酒(とにかく暑い日だったので・笑)で、いただくのは山形の酒蔵「六歌仙」さんの「日本第一番辛口日本酒」と謳われている「山法師 純米爆雷辛口 原酒生酒」です。まあひと口吞めば「爆雷」の意味がよくわかるお酒だ！ おお、米の旨味が・・・と思った瞬間、追いかけるように口内にキレ味の良い刀でスパッと鋭い辛味が！ 暗い夜道で後ろから辻斬りにあったような衝撃！ (あった事がないですが)。だけどこの「日本第一番辛口日本酒」は、ただの辛口じゃない！ しつかりと米の旨味が伝わる「辛旨」絶妙バランスのお酒だ。その上、「山法師 純米爆雷辛口 原酒生酒」は年に一度の限定出荷品で限られた酒屋さんでしか販売していないようだ。機会があれば皆さまも一度お試しあれ、今まで呑んだ「辛い日本酒」とは一味違っはすです。これを造った「六歌仙」さんも凄いけど、これを置いている町の酒屋「さかえ」さんも凄いですよ。

あわす肴 ごぼうチーズ 三〇〇円

魚打ちの肴といえば「乾き物、缶詰、魚肉ソーセージ、プロセスチーズ」なのだけれど、ここ「さかえ」さんでは、お酒好きの若旦那さんが日本津々浦々の珍味を選びすぐり提供している。そこで選んだのは聞いたこともない「ごぼうチーズ」？ ごぼうもチーズも好きだけれど相性がつかない・・・目の前に現れた「ごぼうチーズ」は、さきかきゴボウを唐揚げにして、そこにチーズをまぶしているスナックタイプの珍味だ。その味は、ゴボウの上の風味を持ちながらもカマンベールチーズの濃厚な味わい。少し「趣」を思わせる甘さがある、その甘さが「爆雷辛口」によく合う！ 本日も町の酒屋さん魚打ちで、良い日本酒の一献でした。



酒/浦霞 特別純米酒 生一本 (宮城県)
肴/宮城県産 ホヤ瓶詰め

一三七 献目

佐浦 浦霞 特別純米酒 生一本

原料米 ササニシキ
精米歩合 六〇％
日本酒度 十一・十二
酸度 一・四
アルコール分 一五・二六％
産地 宮城県塩釜市本町

宮城県
塩釜市



本日は肴ありきの家呑み一献で！ 暑い日の休日、大好物の宮城県産珍味を冷凍室で見つけどうしても呑みたくなつた、ワガママを言えば宮城県の酒を！ こうなれば誰も止められぬ、すぐに日本酒が揃っている酒屋さんに向かい、この酒「浦霞・特別純米酒・生一本」を購入した。まず、冷で一献。もう、これ「浦霞」は安心安定の旨さ、何も言う事がない。言うなれば、ちゃんとコクを感じる米の旨みで純米酒らしい純米酒。おまかせね酒にすると旨さ倍増！ 炊きたてご飯の様なぐよかさ、そこにほどよい酸味も感じる、爛好きにはたまらないお酒だ。さすがは「全国酒コンテスト2020」プレミアム酒部門で金賞を受賞したお酒だ、お米の旨味と甘みのバランスが絶妙。

あわす肴 宮城県産 ホヤ瓶詰め

今回は肴がメインで、それにお酒を合わせる事になった主役の宮城県産「ホヤ瓶詰め」。冷凍庫で長期保存をしていた瓶詰めを冷蔵庫でゆっくり解凍（約半日もかかってしまいました・・・）、蓋を開ければ磯の香りが鼻をくすぐる。



この「ホヤ瓶詰め」は塩辛じゃなく（塩水には漬かっていますが・・・）、「ホヤ」本来の味を楽しめる刺身風なので「ホヤ」好きにはたまらない逸品！ 冷凍保存のため多少は変色しているけど、一口噛めば口中に濃厚な磯の風味と新鮮な食感を感じさせてくれる。「ホヤ」は、関西でなかなか食べられないけど、こうして保存しとけばいつでも楽しむ事ができる。でも、やはり新鮮な「ホヤ」が食べたいな・・・宮城県の旨肴と旨酒で本日も至福の時間を過ごした。

酒/越前岬 槽搾り 純米酒 風雪北陸 (福井県)
肴/スルメイカお刺身

一三九 献目

田辺酒造 越前岬 槽搾り 純米酒 風雪北陸
原料米 奥越前産 五百万石
精米歩合 六〇％ 日本酒度 十三
酸度 一・八 アルコール分 一六・六％
産地 福井県吉田郡永平寺町松岡芝原

福井県
吉田郡



本日は福井県吉田郡「田辺酒造」さんの「越前岬・槽搾り・純米酒」で家呑み一献。この酒蔵さんには「蔵元三箇条」があり、その「一」が「昔ながらの伝統を継承、少量を丁寧に槽搾り」。槽搾りとは発酵を終えたもろみを酒袋に入れ、槽（ふね）という木製の大きな箱に積み重ね搾り出す、手間ひまかかる搾り方です。その二「福井の風土を活かした酒造り」、このお酒は半年間、「常温タンク熟成」させ瓶詰めするそうです。その三「地域に貢献できる身近な酒蔵」だそうです。今日頂く「越前岬 槽搾り 純米酒」は、蔵元の社長さんも毎日呑んでいると言われる「癒し系・純米酒」らしい（笑）、どんなお酒？頂いてみましょう！ひと口呑めば、柔らかなさを感じ、ゆっくりと広がる米の旨味、独特の酸がまた良い！ しつかりと最後まで余韻を楽しめます。爛にすれば、さらに旨さがアップする、独特の酸の角が取れまた違う味わいを楽しませてくれる。確かに社長さんが毎日呑んでいるだけある！ 飽きのこない、冷から爛まで好みの温度で楽しめる、さり気ない旨さのいいお酒です。



酒/奥播磨 山廃純米大吟醸 責め 生酒 (兵庫県)
肴/明石産タコのネギばん酢

一三八 献目

下村酒造店 奥播磨 山廃純米大吟醸 責め 生酒
原料米 兵庫夢錦
精米歩合 五〇％
日本酒度 十四・四
酸度 一・八
アルコール分 一六・三％
産地 兵庫県姫路市安富町

兵庫県
姫路市



あわす肴 明石産タコのネギばん酢 九八〇円

本日は「酒のムラタ屋」から、この春に創業一四〇周年を迎えた「下村酒造店」さんの「奥播磨・山廃純米大吟醸・責め・生酒」で一献です。創業以来、守り続けてきた家訓は「手造りに秀でる技はなし」で、現在も頑固に（笑）手造りによる伝統的な酒造りを守っている酒蔵さんです。その中でも、今宵いただくお酒は「責め」の一本！何が「責め」と言えば、醸し袋吊りで一滴ずつ落ちてくる「雲酒」をとった後、醪（もろみ）が残っている袋を槽で加圧して搾ったのが「責め」なのです。この「責め」部分は「雲酒」と比べれば、多少「雑味」などを感じますが、その分うまみが凝縮されています！ その上、「生」で約八か月間じっくりと水溫熟成しているから「角」が取れ良いお酒に仕上がっています。爛で頂くとさらに、豊かな米の旨みと穏やかな吟醸香が楽しめる旨酒です。



あわす肴

スルメイカお刺身 九八〇円

今回の肴は「スルメイカお刺身」！ 前回「明石タコ」、どれだけ軟体動物が好きなのか（笑）自分でもよく分からない。でも、このお刺身が魚屋さんで、なんと九八〇円だったんです。絶対にお得と思いついた、日本産のスルメイカ、福井県のお酒と相性も良いはず。スルメイカを涼しげなガラス皿に移し、大葉を刻んで横に添えれば、立派で豪華な酒の肴に。お店で食べれば二〇〇〇円はするだろう、それを一人で楽しめる贅沢。飽きのこないお酒と新鮮なイカの味、たっぷり量もある今宵の一献でした。



本誌からのお知らせ

ソノひびヨリ

次号予告 (2025年10月~12月)

連載

ソノひびヨリ

第四〇話 大坂府

大阪・関西万博閉幕記念 大阪もんの旅へ



河内長野市 天空

昭和ガラクタノスタルジー 家のじゃまけモノ

ソノシート盤、キーホルダーその他



世界拳闘紀行 第一六話

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」 天皇御陵踏破の旅 外伝編



菟道稚郎子尊・宇治市

日本酒紀行 一合一看

一四〇献目から



特集

mofmof 推し歩き

プチモフ動物探訪行ってみたZOO~

※記事内容は一部変更になる可能性があります。

編集旅後記

来月四月、三日に開会した「EXPO 2025 大阪・関西万博博覧会」も、残すところ約一週間ほどです。当初の予想を覆す大反響、開会日までの入場予約がキャンセル待ち状態になっています。さすがは世界各国の博覧会ですね、つくづく感心いたしました。

それと万博の建造物で私が一番感動したのが、「大屋根リング」、前の万博の「太陽の塔」にも負けない迫力にそこら眺望できる大阪湾の美しさ！銀波、金波の茅渚の海（ちめのうみ）と言ったものです。部分的な保存（約200m部分のな保存）を検討しているみたいですが、できれば全て残して頂きたい。このことは次号で掲載しますので、ここではこれくらいにしておきます。

「つぎがかりなのは、「関西万博」閉幕後の関西エリアの経済ですね。万博需要でのインバウンド客増加、国内の万博客、各国ハビリオンや整備、清掃などのスタッフが滞在経費（食住の消費）・・・万博特需とでも言うのでしょいうか関西に落ちてきていたお金が、全てなくなってしまうのです。考えると不安材料が多くて怖くってきますよ、大丈夫ですか関西経済！

そんな不安を払拭するために、次号では「大阪特集」を掲載予定。「大阪・関西万博」大屋根リング、大阪物産「おおさかもん」をメインに提供する酒蔵が運営するレストランや中世の環濠都市・堺などを紹介いたします。

また、「天皇御陵全踏破の旅・外伝」は、秋の観光に丁度いい京都の宇治「菟道稚郎子尊・宇治墓」、滋賀県「福井県を巡る「養父市辺野瀬宮子」などを掲載です。赤木翁は老体打ち旅を続けています。「外伝編」は伝説が多く各地に散らばっている面白いのだが、体が持つ心配だ・・・歳なのでボチボチで巡って行くよ」と毎度毎度連絡をしてくれま（苦笑）

「日本酒紀行・一合一看」は、休載中の「世界拳闘紀行」のコピトロックくんからお土産を買ったらしい。それも「なかなか手に入らない大分の酒を」と驚くばかりに喜んでた。ちなみに私からも、大阪の酒と肴を上座に渡したが反応がない。ロストパンダから立ち直れない「やまんなかタヌキ」さんも次号のネタを取材中です。次号もよろしくお願いたします。編集部スタッフ一同、頑張っていますとご期待です！

編集部一同



吉村和敏写真集「路傍に眠つく、新しい日本の原風景」

第五回
写真・文／吉村和敏
「ハッピードリンクショップ」
フォトセレクトブックス

Happy Drink Shop」
フォトセレクトブックス

写真を見れば、しみじみ思う日本のありがたさ

そのひとつは、とにかく「日本は平和で安全」で、世界のカントリーサイドを多く巡った吉村さんならではの隠れたメッセージを感じた（勝手にだけど・笑）。

旅好きの方なら分かると思いますが、海外にはほぼ自動販売機は存在しないことです（私が巡ってきた北米、オセアニア、中米、カリブ、アジアでは見かけなかった）。例外で言えば空港のトランジットルームにドリンクの販売機、ホテルロビーの共同トイレにコスメ類に衛生グッズなどがあつたくらいです。「なぜ」海外には自販機がないのか？それは簡単なこと、盗まれるからです！それも自販機ごと跡形もなく（苦笑）。人通りの少ないような場所に何台も自販機が並んでいる「ハッピードリンクショップ」、これを眺めているとつくづく日本は治安が良い国だと思える。

あの「最も美しい村」シリーズの写真家・吉村和敏さんが「とても！」（失礼）写真集を発表した。昨今、写真家が独自のアングルで切り込み、表現する「びっくりモチーフ」（笑）が多い。長野、山梨、群馬、神奈川、四県にまたがり〇四ヶ所もある自販機ショップ「ハッピードリンクショップ」、三年と六ヶ月の歳月をかけ撮影踏破！いよいよ吉村さんもキワモノに手を出したかと思いきや！モチーフの「自動販売機」に目が奪われがちになるのだが、背景から読み取れる文脈を感じるとなかなか奥が深い（私なりにだが・笑）。

こりゃ〜！
とんでもない写真集が発行された（笑）。

情緒を感じる風景に、
さすがだな！と笑ってしまふ。

それに、もうひとつは「過疎化や高齢化、少子化」の問題。ページをめくっていくと、いくつか写真に共通点を見出すことができた。それは、商店の入り口を塞ぐように並んだ自販機の絵面だ。ひと昔前までは「よろず屋（生活雑貨・食料品・文具・嗜好品・薬などを扱う商店）」を営んでいた住まい。

バス停前の「よろず屋」でアイスを食べてるクラフ終わりの高校生、店前の床几に腰掛け井戸端会議に花咲くお婆さんたち、農作業帰りのおじさんが晩酌のお酒を買っている姿、小学生の体操服を注文しているお母さん・・・そんな、懐かしくも温かい日常の風景が浮かんでくる。その風景は失われたけど、その代わり「ハッピードリンクショップ」を舞台にして、また新しい日常がそこには展開しているはずだ。

これは「とても！」写真集などでない！ちゃんと心象風景を見せてくれる写真集。何を感じるか？ 試しにページを開いて欲しい一冊。

